三種類いたオカメコオロギ

秋の野原や庭で鳴くいろいろなコオロギのなかでも、オカメコオロギのなかまはもっともふつうに見られるものです。リーリーリーリーと四声ほど鳴いて少し休み、またリーリーリーリーと続けます。つかまえて顔を見ると、正面が平たくなっています。そのおかげでオカメなどと名付けられたのでしょう。

オカメコオロギは、昔は一種類だと思われていました。しかし、いろんな場所のオカメコオロギの鳴き声をよくよく比べてみると、少しずつ違う三つのグループがあることがわかってきました。しかも、その三つのグループは住んでいる場所も、たがいに違っていることもわかってきたのです。しかし、三グループ間での形の違いはなかなかわからず、採集して標本にしたオカメコオロギでは見分けることができませんでした。

それで、最近、鳴き声を確認してから採集したものをたくさん集めて形の違いをたんねんに調べられ、ようやく形の違いがわかるようになりました。

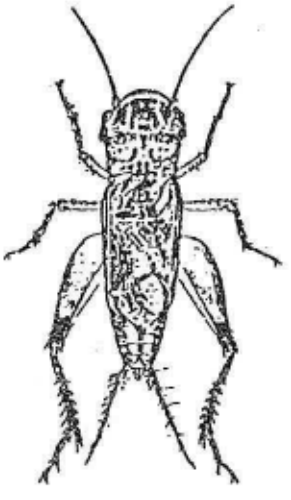
もとは一種類だと思われていたオカメコオロギは、実は三種類（ハラオカメコオロギ、タンボオカメコオロギ、モリオカメコオロギ）をいっしょにしていたものだったのです。

富山県にも、この三種類のオカメコオロギがいます。その特徴を表と図で示しておきますので、あなたの近くで見られるオカメコオロギはどれか調べてみてください。

ハラオカメコオロギ
　リーリーリーリーとテンポは速く鳴く
　草地、畑などの乾いた感じの場所を好む
　東北地方南部以南の本州、四国、九州にいる

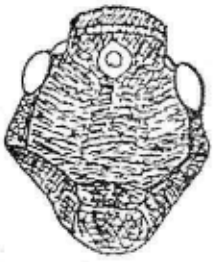
タンボオカメコオロギ
　リーーリーーリーーリーーとテンポは緩やか
　田んぼや湿地のまわりの湿った所を好む
　北海道、中部地方以北の本州にいる

モリオカメコオロギ
　リーーリーリーリーとテンポは少し緩やか
　森や林の下落ち葉の積もっているような場所を好む
　東北地方南部以南の本州、四国、九州にいる



ハラオカメコオロギ全体図

オカメコオロギ類の頭部の特徴



正面から見た
オカメコオロギ類の顔

上部から見た模様

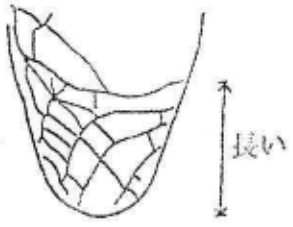


ハラオカメコオロギ
モリオカメコオロギ

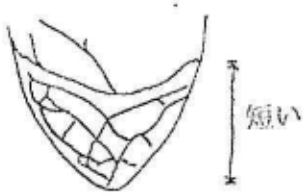


タンボオカメコオロギ

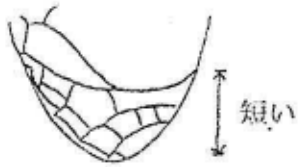
オカメコオロギ類の前羽先端の特徴



モリオカメコオロギ



ハラオカメコオロギ



タンボオカメコオロギ

このように、いくつかのたいへん似た種類が、見分けられずに一種類とされてしまっていた例はコオロギ類にかぎらず、いろいろな昆虫類で、また、植物でもたくさんあります。しかも、ふつうに目につくものによくあるのです。まだまだこれからもそういった新しい発見があるでしょう。

このことは、もうわかってしまっていると思われている事がらでもたんねんに調べることや、新しい見方で調べることで、思いもかけなかった発見があることを教えてくれます。　（ 根来　尚 ）

富山市科学文化センター
〒939　富山市西中野町１丁目８番３１号
電話　（０７６４）９１－２１２３（代表）
平成２年１０月　１日発行